

平成26年8月22日

お知らせ

同時資料提供先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、
広島市市政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

東広島バイパス部分開通3ヶ月後の利用状況について

3月29日に開通した、国道2号東広島バイパス（瀬野西IC～中野IC間の延長4.4km）の部分開通3ヶ月後の利用状況についてお知らせします。

① 東広島バイパスの利用交通量・交通の転換

◆開通区間の利用交通量（中野IC～瀬野西IC）

（開通前）約27,100台/日 → 国道2号（現道）：（開通後）約18,900台/日

（平成25年10月22日（火）調査） → 東広島バイパス：（開通後）約11,400台/日
（平成26年6月12日（木）調査）

- ・交通が東広島バイパスに転換したことにより、国道2号（現道）の利用交通量は約3割減少しています。

② 交通混雑の状況について

- ・国道2号の利用交通が東広島バイパスに転換したことにより平原橋東詰交差点を先頭にした渋滞が見られなくなりました。
- ・一方で、夕ピーク時に上瀬野一丁目交差点を先頭にした下り線約5kmの混雑など課題が残っています。
- ・課題に対しては、新しく開通する中野東ICおよび、市道の開通により利便性の向上した中野ICの交通状況を確認・分析しつつ、関係機関と連携を図りながら対策を検討していきます。

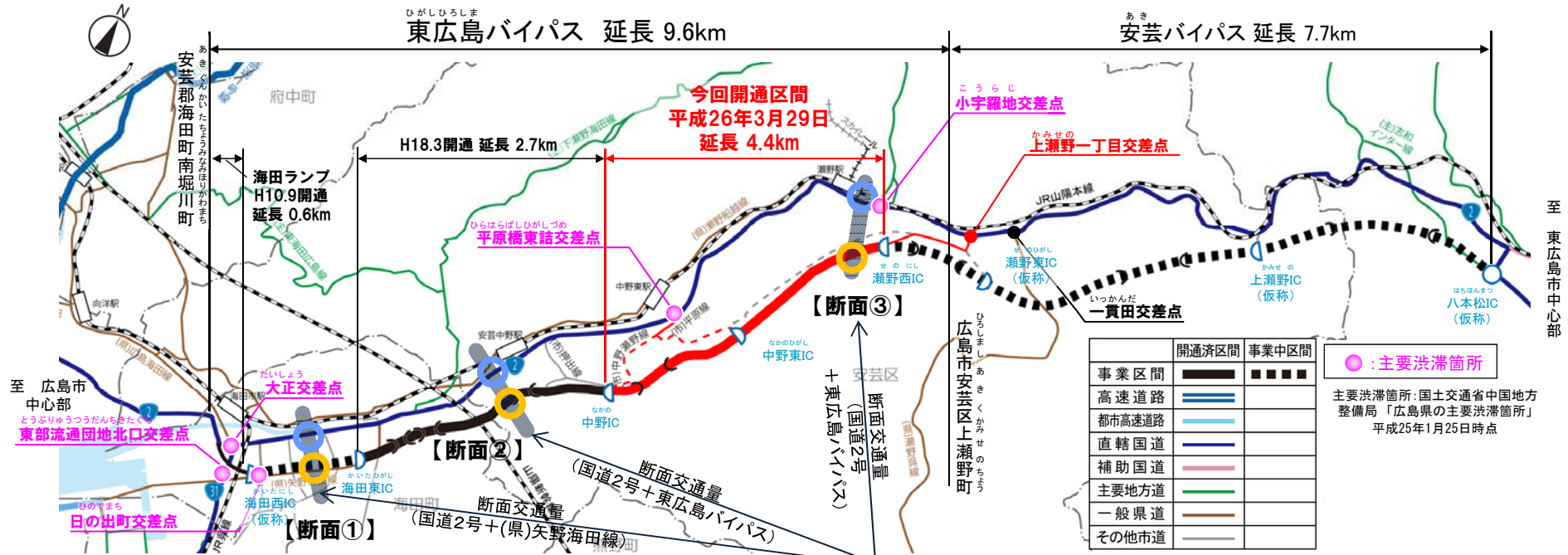
※今後も引き続き調査を行い、道路整備効果を検証していきます。

《問合せ先》

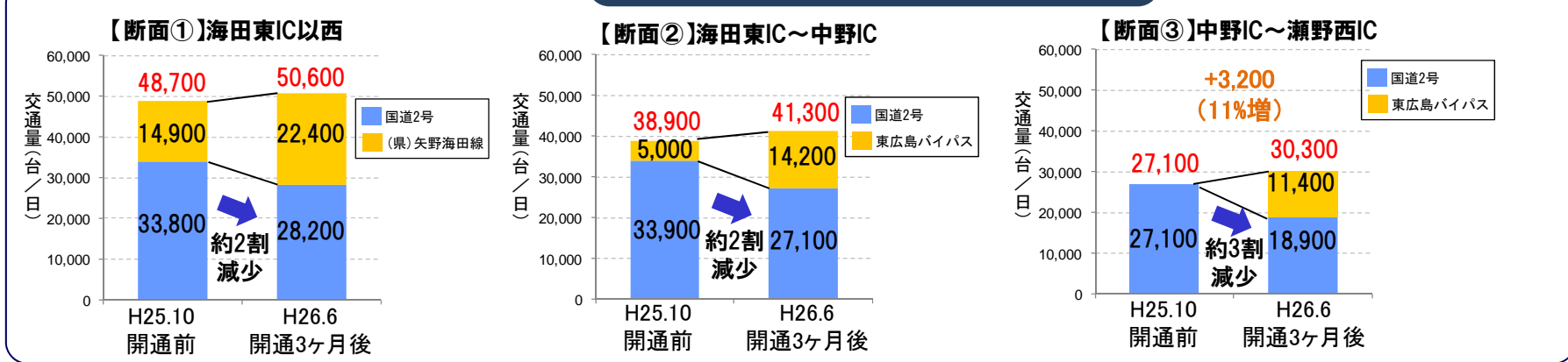
- ・国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897
副所長 井上 和久 (いのうえ かずひさ)
【担当】計画課長 梅林 幾彦 (うめばやし いくひこ)
ひろこくホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

利用状況① 東広島バイパス部分開通後の利用交通量・交通の転換について

- 東広島バイパスの今回開通区間の開通3ヶ月後の利用交通量は約11,400台/日です。(断面交通量は約3,200台増加)
- 交通の転換が図られ、国道2号(現道)の利用交通量は約2割～3割減少しています。



東広島バイパスと国道2号の利用交通量



※交通量調査結果より (開通前:H25年10月22日(火)、開通3ヶ月後:H25年6月12日(木))

利用状況② 東広島バイパス部分開通後の交通混雑の状況について（下り）

- ・国道2号の利用交通が東広島バイパスに転換したことにより、
 - ⇒ 平原橋東詰交差点を先頭にした**渋滞が見られなくなりました。**
 - ⇒ 小宇羅地交差点を先頭にした**渋滞が見られなくなりました。**
- ・一方で、上瀬野一丁目交差点を先頭に**約5kmの渋滞**など課題が残っています。
- ・今後は、新しく開通する中野東ICおよび、市道平原線と中野瀬野線の開通により利便性の向上した中野ICの交通状況を確認・分析しつつ、上瀬野一丁目交差点を先頭にした混雑について、関係機関と連携を図りながら対策を検討していきます。



撮影日：H26年6月12日（木） 8時台



撮影日：H26年6月12日（木） 17時台

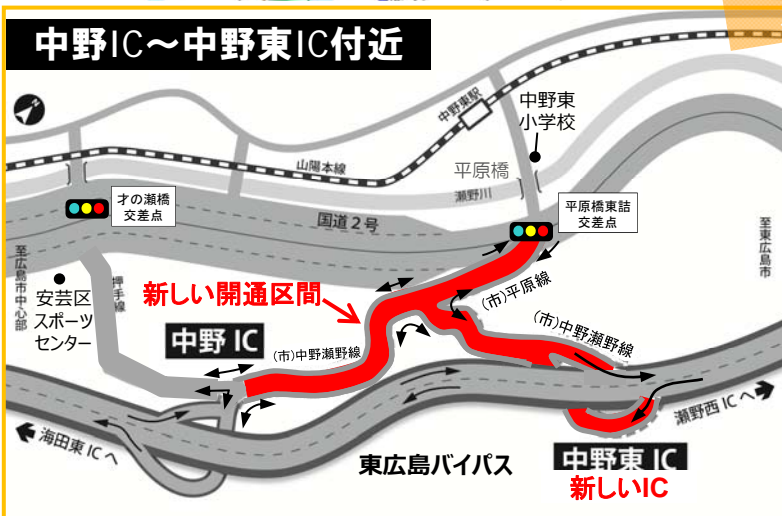
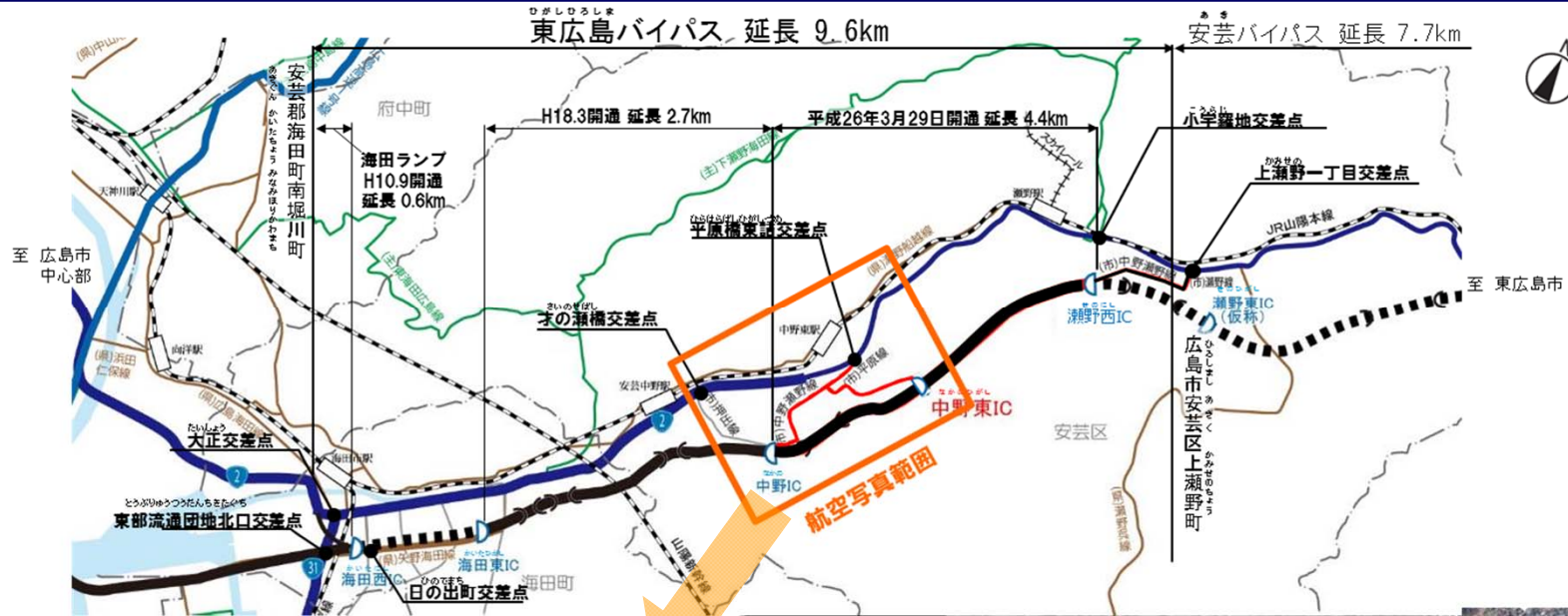
【混雑の状況】
 [開通3ヶ月後]
 ← 〇〇m : 渋滞区間・延長
 H26.6.12（木）実測：朝夕混雑時間帯のうち、
 20km/h以下となる最大区間長

● : 主要渋滞箇所
 国土交通省中国地方整備局「広島県の
 主要渋滞箇所」平成25年1月25日時点

【参考】東広島バイパスに接続する広島市道（平原線、中野瀬野線）開通のお知らせ

●平成26年9月12日(金)15時の市道平原線と中野瀬野線の開通により、新たに中野東ICが利用可能となります。また、新たに開通した市道平原橋線と中野瀬野線を利用することにより、平原橋東詰交差点付近の地区から中野ICへのアクセス利便性が向上します。

※中野東ICは、大阪方面との流出入が可能です。また、中野ICは、広島方面との流出入が可能です。



出典「地図・空中写真閲覧サービス」(国土地理院)

※東広島バイパスは無料の自動車専用道路です。歩行者・自転車及び125cc以下のバイク等は通行することができません。